

令和元年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 令和元年八月一日～令和元年十月末

投句数 二、五〇八句

特選三句

天

名月や波より低し和賀江島

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

地

踏切にかげろう消える電車音

東京都調布市

五十嵐 美月

人

秋蝶と共に三門通り抜け

神奈川県横浜市港南区

金子 きよ

入選句

一般の部

山門の影くぐりゆく夏日傘

神奈川県川崎市麻生区

浅井 淳

砂の城波にくずれし夏はゆく

神奈川県鎌倉市

阿部 史美

折りとりて石の仏に彼岸花

東京都武蔵野市

池田 章子

江ノ電の虫の音すだくホームかな

神奈川県横浜市港南区

石川 正明

膝ひとつ詰めて十夜の婆となる

三重県三重郡菰野町

金津 やよい

建長寺さんの裏山薬掘る

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

長谷寺や竹青空へ夏近し

東京都府中市

小早川 雄希

水透かし幸せ願う薄暑かな

東京都小平市

佐藤 美遥

秋蝶や婚の列行く段葛

神奈川県横浜市金沢区

篠原 広子

山門へいざなふ如くこぼれ萩

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

夏の川夏の湖夏の庭

東京都三鷹市

津田新之助

見晴るかす紅葉の谷戸や半僧坊

神奈川県鎌倉市

中島容子

大仏と空とを繋ぐ五月雨

東京都三鷹市

西島寛人

二階堂礎石撫でゆく秋の風

埼玉県さいたま市南区

橋本庸久

追憶や祖父と覗いた蛸蚪の家

東京都武蔵野市

蓮見駿

酔芙蓉咲く尼寺のしじまかな

神奈川県横浜市戸塚区

原和三

総門の黒鉄の鋌秋の風

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

正谷民夫

今楽し今も楽しと夏帽子

神奈川県藤沢市

山田セツ子

江ノ電の軋ませまどふ秋の風

熊本県熊本市南区

米岡新一

一山を九月の蟬の鳴き通す

東京都武蔵野市

渡辺一甫

(順不同)

入選句

子どもの部

台風がせまってあれる観光地

埼玉県さいたま市緑区

橋本 祐太郎

大仏を残暑の中で見つめてる

埼玉県さいたま市緑区

本木 勇羽

せんふうき思いをのせてまわってく

東京都江東区

小郷 柚穂

山道を見上げてみれば紅葉かな

埼玉県さいたま市緑区

片倉 理人

大仏は台風来ても堂々と

埼玉県さいたま市緑区

八木澤 良亮

あきばれをみあげてみればだいぶつだ

埼玉県さいたま市緑区

永嶋 心華

かまくらの町を見守る秋夕焼

神奈川県川崎市幸区

江城 暁斗

どんぐりがころころとかわいいな

神奈川県横浜市戸塚区

あきもと すすえ

台風は重い物までもちあげる

神奈川県鎌倉市

土田 青波

赤とんぼいなほの上でひとやすみ

神奈川県鎌倉市

倉本 愛澄

(順不同)